

学科近況

今年は前半戦が終了し、学生はみんな自宅に戻り、エネルギーを充電しているでしょう。前号(第3号)で連絡しましたインターンシップも始まって学校とは違った環境に戸惑っている学生もいます。インターンシップ先の話などを保護者の方から聞いてみたいかがでしょうか。

前期終了時に沖縄高専専攻科について、「こんなにメリットがありますから進学先として考えるように」と話をしました。将来を見据えて本人とご家族で相談し、進学先の選択支に加えていただけるようお願い致します。

オープン。キャンパス時に開催しました保護者・教員交流会(3,4年生)はいかがでしたか。保護者の方から少なくとも年2回は開催してほしいとのご要望がございましたので、高専祭の時期に開催できるかどうかを検討しております。開催の暁には振るってご参加ください。

今年は、寮外生が多くなり、遅刻、欠課など増加しています。ご家族から声を掛けて、自立した生活ができていかなど話し合うことも必要です。学生の新しい面に気づかれるでしょう。メディア情報工学科教員一同、学生の将来を希望あるものにするため、全員一丸となって教育面、生活面など含めて、努力していきます。

(学科長:水野正志)



各学年の話題(4年生)

学級近況

この「学科だより」がご家庭に届く頃は、インターンシップ中の学生も多いと思います。実習期間中には教員が実習先を訪問し、実習中の様子を聞いていますが、担当者から学生が積極的に取り組んでいると聞き嬉しく思っています。また、多くの企業に実習の場を提供していただいていること、熱心に指導していただいていることに、改めて感謝しています。インターンシップ中は実習日誌をつけていますので、実習後もそれを読み返し、実習を通じて身に着けたことや感じたことを思い出し、今後の学校生活や進路の選択に役立ててほしいと思います。

10月3日のインターンシップ報告会で各学生は実習内容や感想を発表します。発表に向けてスライドや資料を作成することで実習の復習になる場合もありますし、他の学生の発表を聞くことで多くの業種・職種を知ることができます。教員としては、学生が実習で学んだことや感じたことを知りたいので、今から報告会を楽しみにしています。報告会には3年生も参加できますので、一年後のインターンシップの参考にしてください。

担任は4月からインターンシップの準備に関わり、手探りで事前指導を行ってきました。沖縄高専にとって初めてのインターンシップということもあり、細かい不手際がありましたが、十分に反省して2期生のインターンシップにつなげたいと思います。

(4年学科担任:太田 佐栄子)

各学年の話題(3年生)

学級近況

早いもので瞬間に1年の半分が過ぎました。はじめての学科別クラスで、当初、学生達の間にも緊張と戸惑いの表情が見られましたが、学期半ば頃からはクラス全体に打ち解けた雰囲気広がってきたように感じています。教室に行くとき少し騒がしいくらいの時もありますが、教員としてはそれくらいの方が安心です。後期に入ると高専祭があります。体育祭はなぜか有志のみ参加の行事となっております。クラス全体で取り組むことができませんでしたが、高専祭の準備を通してクラスの団結と友情を育むことができるようにサポートしていきたいと考えています。

3年に入り寮から出た学生も増えましたが、生活面での悩みなどは抱えていませんか。学校近隣の地区は総じて不便な場所であり、ここで生活するには何かと創意工夫が必要になってくると思います。学生本人、家庭、学校がスクラムを組んで、僻地での教育をより良いものにしていきたいと考えています。ご家庭で困ったこと、わからないことがあれば、どのようなことでも担任にご相談下さい。

3学年後半になると自動車運転免許を取得する学生が出てきます。交通事故は、加害者側であれ被害者側であれ、一生の問題に発展することが少なくありません。若い時は一生という時間の重みや命の重みがまだ十分に実感できない時期であり、それだけに交通事故の重大さはややもすると軽視されがちです。学生が自分のこれからの一生を遺恨・後悔に明け暮れるものにならないために、事故の予防はもちろん、万一事故が起こった際に被害を最小限に食い止める具体的な対策を怠らないよう、ご家庭でもしっかりと見守っていただきたいと思います。特に、沖縄では米軍の軍用車輛やいわゆる「Yナンバー」車輛との事故について留意する必要があります。軍関係車輛との事故に際しては、言葉の壁を乗り越えてとにかく相手が誰であるか確認して警察に届けることはもちろん、被害を受けた場合の賠償請求については、防衛施設局や米軍法務部を相手に地道に必要な法的措置を講じる必要があります。また困ったときにも泣き寝入りせず、必要に応じて弁護士会、被害者を支援する各種団体などにも相談すべきでしょう。こうした地域特有の事情については、学校側からも指導できるようにしたいと考えています。

(3年学科担任:西村篤)



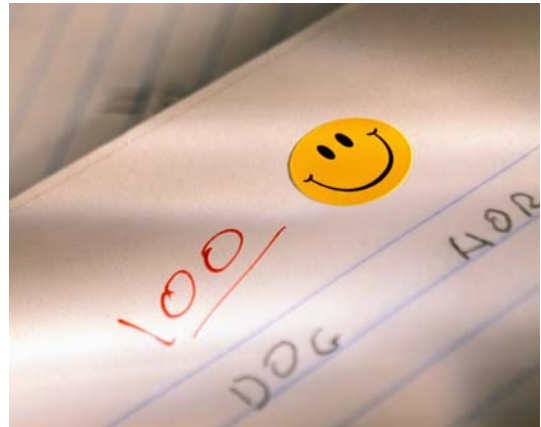
その他学科内の話題

資格試験

平成19年7月1日に実施されたインターネット検定でメディア情報工学科の学生4名が見事合格しました。インターネット検定はNTTコミュニケーションが実施する検定試験で合格するためにはインターネット関連の幅広い知識が必要とされます。今回合格した学生は以下の通りです。ダブルスター:山本宗章(3年)、シングルスター:嘉手苺弘昂(4年)・上原佑介(1年)・清末尊(1年)。

また、平成19年10月21日に実施される情報処理技術者試験(IT系の国家資格)に本学科から2年生20名、3年生26名、4年生33名の80名がチャレンジします。前回の試験では16名(合格率50%)が合格しましたが、今回は受験者数も大幅に増えていることもあり、多くの合格者が出るものと期待しています。

(正木忠勝)



編集後記

「メディア情報工学科だより」は、3学年以上の学生をお持ちの家庭を対象に、試験の成績通知に合わせて発行している学科通信です。学科別の学級がスタートした平成18年度に発刊し、その年は2号を発行しました。2年目となる平成19年度は、年間4号を発行して、学校の雰囲気をご家庭に届けることができると考えています。学科通信に関するご意見ご要望などがありましたら、編集担当者までお寄せ下さい。

編集担当者連絡先:

〒905-2192 沖縄県名護市字辺野古 905
沖縄工業高等専門学校メディア情報工学科 西村篤
電話 & ファックス: 0980-55-4177
電子メール: nisimura@okinawa-ct.ac.jp